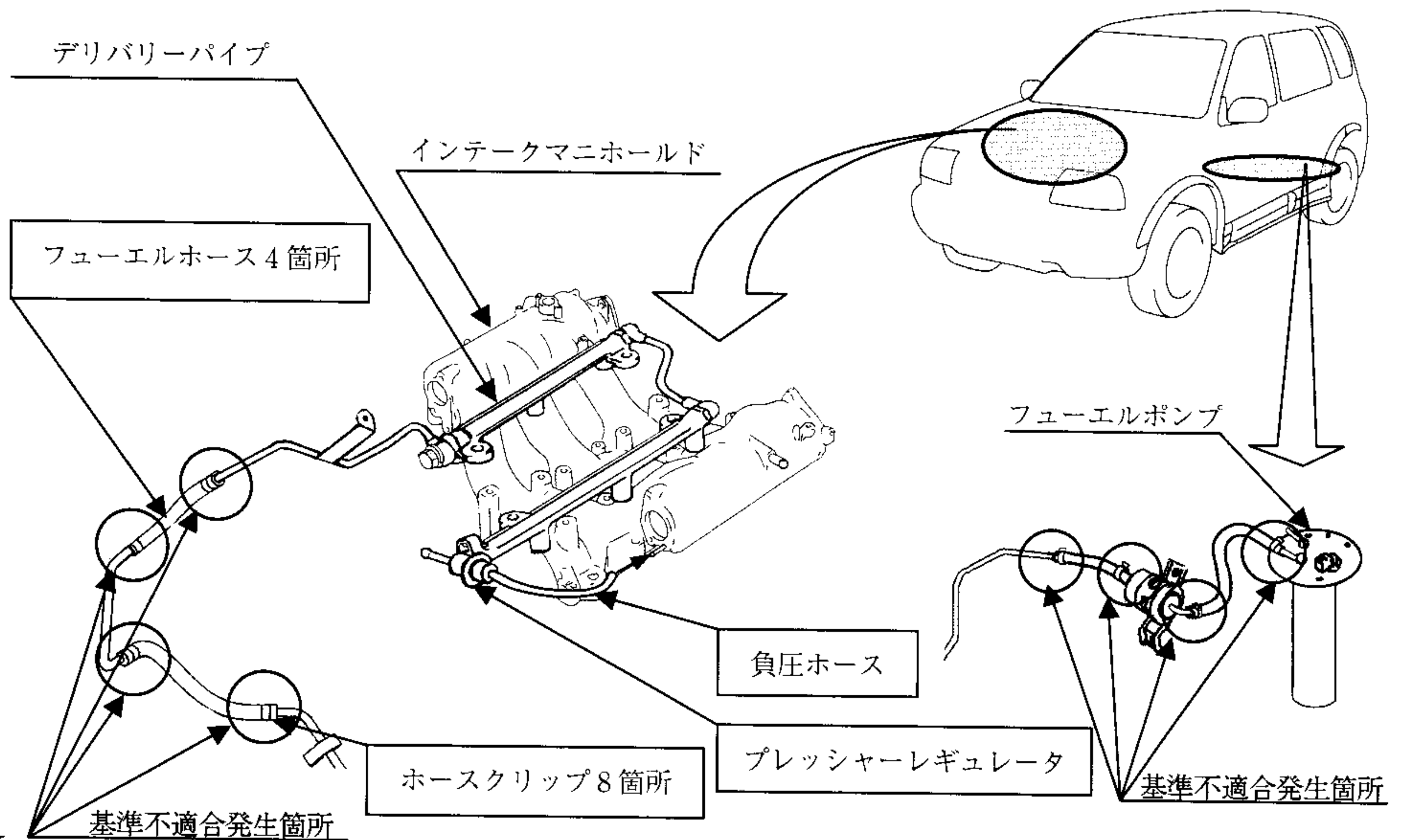
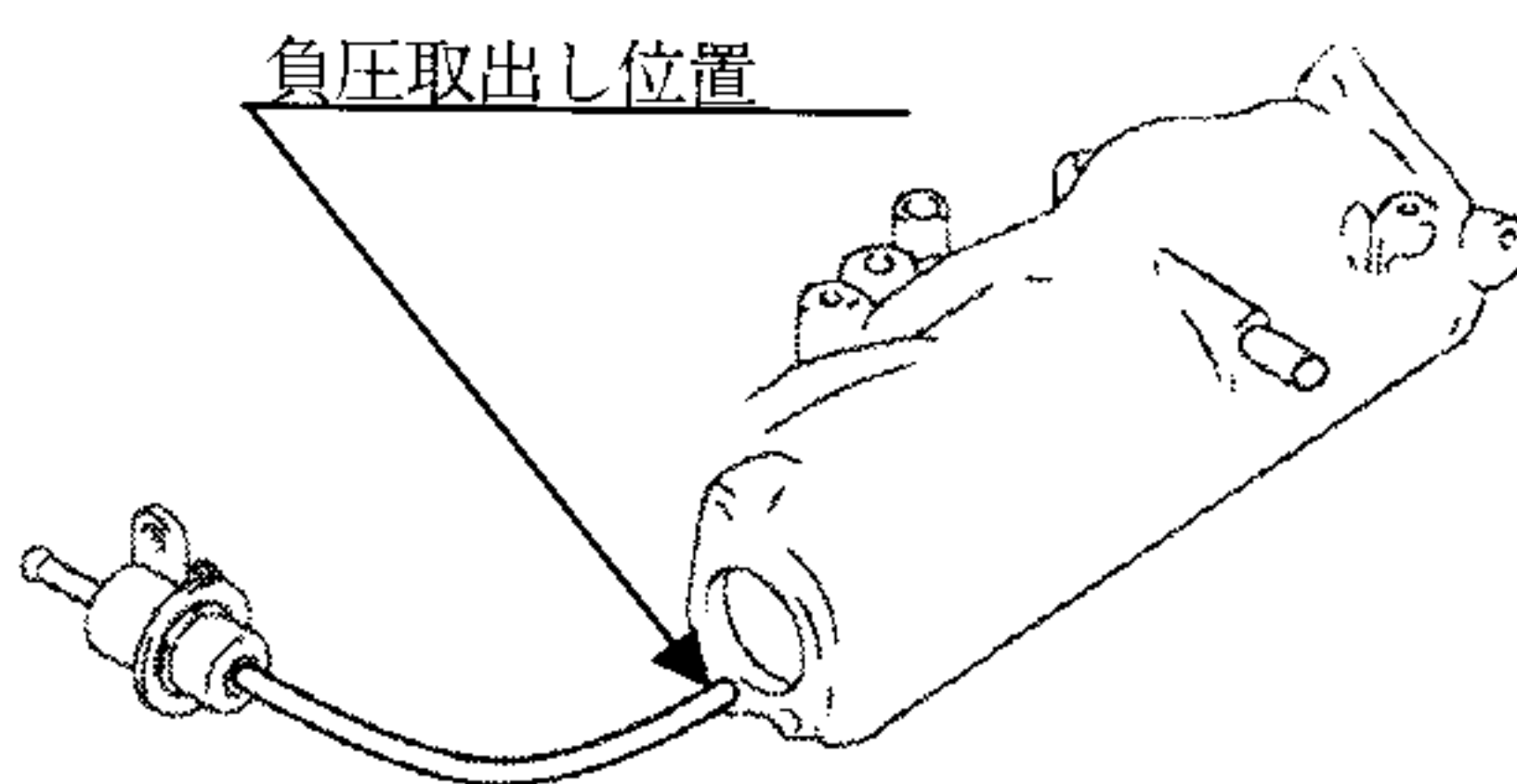


改善箇所説明図

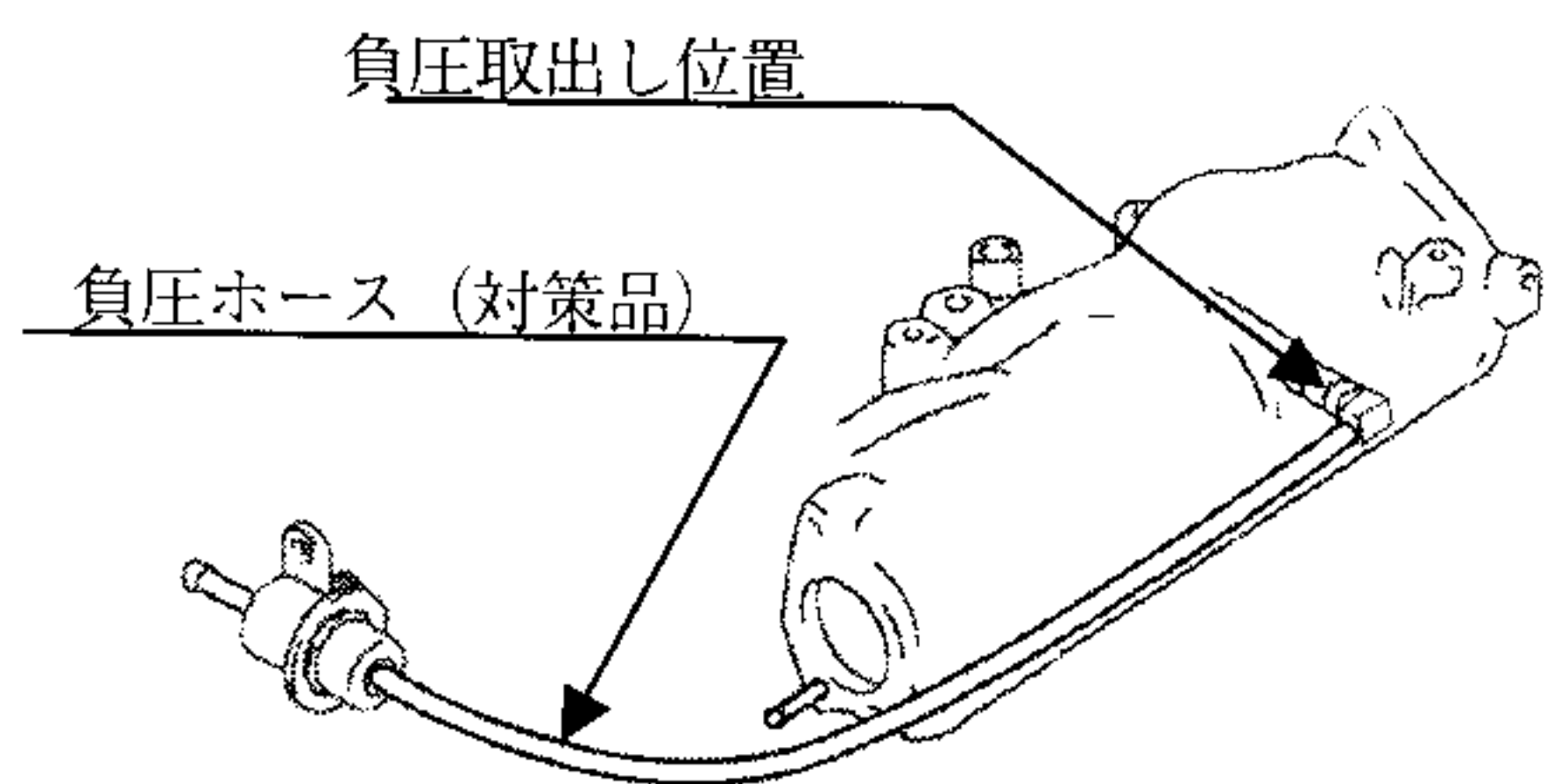


プレッシャーレギュレータ（燃料圧力調整装置）用の負圧ホースの取り回しが不適切なため、走行中にインテークマニホールド内で発生した水滴が負圧ホースからプレッシャーレギュレータ内に浸入することがある。そのため、極低温下でエンジンを停止した場合、浸入した水滴が凍結してプレッシャーレギュレータが作動なくなり、最悪の場合、エンジンを始動するとフューエルホースとフューエルパイプの接合部から燃料が漏れるおそれがある。

改善前



改善後



改善の内容

全車両、負圧ホースの取り回しを変更した対策品に交換するとともに、プレッシャーレギュレータを新品と交換する。また、フューエルホースクリップを確認し、該当するものは当該クリップを対策品に交換するとともに、フューエルホースを新品に交換する。

識別：ID プレートの下部に黄色のシールを貼付する。

注： は交換部品を示す。